

ありがとうの中藤

学校便り第11号
令和5年3月15日
福井市中藤小学校



新型コロナウイルス感染症が日本全国と全世界に広がり、私たちの「生活様式」や「これまでのあり方・考え方」の変革を余儀なくされ、多くの「予測不能」の出来事が起こって早3年が経ちました。そして、この5月からこの病気は、「インフルエンザ」と同じ「5類」に分類されます。

一部の医療関係者からは、確かに感染者の数は減ったものの「時期尚早」との意見も出ています。また一方では、飲食業や観光業に携わっている人にとっては「このままでは生活ができない」という深刻な現状もあり、果たしてどちらの歩む道が正しいのか、まさに「予測不能」だと言えます。

また、マスクの着用も一昨日より「個人の自由」となりました。学校としては、国や県の指針を参考にしながら、今年度（今月中）はこれまでのあり方（感染対策）を続け、新年度（4月）から「マスクの着用は『本人の意志』を尊重する」とします。決して、「する・しない」で心が傷んだり、トラブルが起きたりしないよう、子どもたちへの指導をしっかりと行っていきたいと考えておりますが、保護者の皆様、そして、地域の皆様にもご理解ご協力をお願いいたします。

そして、昨日3月14日（火）午前9時より、今年で113回目の「令和4年度卒業証書授与式」が挙行されました。厳粛な雰囲気の中、127名の卒業生が凛とした面持ちで臨み卒業証書を手にしました。担任の先生からの呼名に対し、どの卒業生も力強い大きな返事で応え、まさに「巣立ち」ふさわしい、これから意気込みが伝わる素晴らしい姿でした。素直な気持ちとして、「中藤島地区の宝」でもある127名の門出を、在校生一同、本校PTAの皆様、毎日子どもたちの登下校の指導をしてくださっている見守り隊の方々、そして、中藤島地区の全地域住民の皆様と一緒にお祝いしたかったです。本当に、心に残る、立派な姿の「卒業生」でした。ご報告いたします。

彼らが創り出すこれから未来が、心豊かで光り輝くものとなることを切に願いながら、皆様には、引き続き彼らへのたゆまないお支えをお願いいたします。 福井市中藤小学校長 佐藤 勉 (Big Ben)

＜第113回「令和4年度卒業証書授与式」が挙行！＞



<3/10(金) 卒業記念品贈呈式が行われました>



令和5年3月10日（金）の午前8時40分より、令和4年度の卒業生に対し、本校PTAより卒業記念品の贈呈式が行われました。細川正人PTA会長様より、卒業記念品として「卒業証書ホルダーとコサージュ（当日着用の胸飾り）」の授与がなされ、卒業生を代表して竹野伊織くんが授受しました。

会長様からは「想い出と一緒に大切にしてください。」とのお言葉があり、竹野くんからは、「中藤小学校での想い出を大切にし、これからも努力を続けていきます。」という力強い言葉がありました。

<3/13(月) 歌で卒業生を送る会>



<在校生たちが「感謝の意」を「空高く」の歌で表しました>

3月13日（月）の5限目、在校生たちはこれまでお世話になった卒業生に対し、感謝の気持ちを込めて「空高く」という曲を全員で合唱し、中央のフロアで先輩達をお見送りしました。とても胸が熱くなる時間となりました。

<多くの学びがあった食育指導>

本校の1階中央フロアのところで、これまで多くの「食」に関する掲示がありました。ときにクイズであったり、紹介であったり、実に多くの学びがありました。「食」は人が生きていく上でとても大切な行いです。ぜひ健康な体づくりを心がけましょう。



<茨城県結城市についてのクイズの掲示>

<1,000株のチューリップが芽を出し始めました>



<東側の畑の様子>



<西側の畑の様子>

春の訪れと共に、本校駐車場の東と西側にあるチューリップ畑では、赤、白、黄色、ピンク、オレンジの5色の約1,000株の芽が出始めました。この5月にどんな姿を見せてくれるのかとても楽しみです。